

科目名	社会と経済（韓国）	科目コード	1144	単位数	2
担当者名	水野 俊平	開講セメスター	第2セメスター	開講年次	1年次

● 授業のねらい

この講義は「躍動する北東アジア地域の発展に貢献する」という本学の教育方針、および「国際的視野に立つ異文化コミュニケーション能力の涵養」という本学の学位授与方針に立脚して、第2セメスターにおいて大田大学校に短期留学する在学学生を対象とした講義（課題）である。留学対象地域の文化を理解し、紹介者の立場で韓国の飲食店（をはじめとする商業施設）を紹介できるようにすることが授業のねらいである。また、提出されたレポートは次年度の派遣学生の教育にも活用される。

● 到達目標

- 韓国人との人間関係の構築方法を日本人の視点から観察する。
- 留学対象地域の飲食店（をはじめとする商業施設）を日本人の視点で観察する。
- 韓国で流行している言葉・風物を日本人の視点で観察する。
- 留学時に事前に準備しておくべき物品・言語表現などを留学生の視点で（後輩のために）作成する。
- 帰国後、教務に提出する留学レポートを作成する。
- 帰国後、留学成果報告会で発表する資料（パワーポイント）を作成する。

● 授業内容

- 1週目 レポート作成 : 自分が推薦する大田の名所を紹介する（調査・日本語作成）。
  - 2週目 レポート作成 : 自分が推薦する大田の名所を紹介する（韓国語作成）。
  - 3週目 レポート作成 : 現在、韓国で流行している社会風俗を紹介する（調査・日本語作成）。
  - 4週目 レポート作成 : 現在、韓国で流行している社会風俗を紹介する（調査・日本語作成）。
  - 5週目 レポート作成 : 韓国で生活するに当たり、持参したほうがいい物品について述べる（調査・日本語作成）。
  - 6週目 レポート作成 : 韓国で生活するに当たり、持参したほうがいい物品について述べる（韓国語作成）。
  - 7週目 レポート作成 : 韓国人との人間関係形成について、留意すべき点を論述する（調査・日本語作成）。
  - 8週目 レポート作成 : 韓国人との人間関係形成について、留意すべき点を論述する（韓国語作成）。
  - 9週目 レポート作成 : 韓国での団体生活について、留意すべき点を論述する（調査・日本語作成）。
  - 10週目 レポート作成 : 韓国での団体生活について、留意すべき点を論述する（韓国語作成）。
  - 11週目 レポート作成 : 自分が推薦する韓国の料理について述べる（調査・日本語作成）。
  - 12週目 レポート作成 : 自分が推薦する韓国の料理について述べる（韓国語作成）。
  - 13週目 レポート作成 : 自分が感じた日韓の生活文化の差について述べる（調査・日本語作成）。
  - 14週目 レポート作成 : 自分が感じた日韓の生活文化の差について述べる（調査・韓国語作成）。
  - 15週目 レポート作成 : 帰国後、教務担当者に提出する留学レポートを作成する（日本語）。
- 16週目 レポート作成 : 帰国後、教務担当者に提出する留学レポートを作成する（韓国語）。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施出来なかった場合は、補講授業を行う。

● 準備学習(予習・復習)等の内容

帰国後、留学報告会で発表する資料（パワーポイント）もあわせて作成すること。

● 成績評価の方法・基準

～ のレポートは日本語で作成し、word文書のファイルで提出すること。～ のレポートはそれぞれ2.5点に換算して採点する。～ は留学成果報告会の席上で発表・提出。

● 履修上の留意点/課題に対するフィードバックの方法

レポートはwordで作成し、メールに添付して提出すること。

● テキスト

特になし。現地で入手できる観光ガイドブック、料理書などを参照すること。

● 参考書

小西明子、徐銀河『日記を書いて身につける韓国語作文』ペレ出版

● 更新日付

2019/03/02 09:41